

2020.2
Vol.33

- アンケート結果…………… 1
- 第26回 研修会報告…………… 2・3
- 漢字教育サポーター研修会報告…………… 3
- ネットワーク会員の地域別分布状況…………… 4
- 漢字研究の扉(コラム)…………… 5
- 漢字教育サポーターリレーコラム…………… 6
- イベント告知…………… 7
- 投稿募集…………… 8

会員通信

ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは

「漢検1級・準1級の受検を決めたきっかけは?」です。

難関級に挑もうと思われたきっかけやエピソードを教えてくださいました!
(回答者: 73名)

※()内は、準1級以上を初めて受検した時の年代と、現在の取得級です。

2級以下の受検がきっかけ



小学1年生の頃から姉が使っていた漢検の問題集を解き始め、小学3年生の頃に初めて受検にチャレンジしました。その時から、合格するときの嬉しさを味わいたい、漢字を勉強したい、という強い気持ちになり始め、気づいたら準1級まで辿り着いていました。(10代・準1級)



中学3年の春に2級をとって満足していたら、同級生も2級をとったと聞き、負けていられないと準1級に挑戦した。(10代・準1級)



2級を勉強する中で、過去問の付録である準1級の問題を見たら意外と2級の問題が出ていたので、2級の問題を忘れないうちにこの勢いで準1級の漢字を覚えればいかなと思ったから。(40代・準1級)

元から漢字・日本語に興味があった



読書や勉強、美術館や博物館などで見る難関漢字や当て字、国字をスラスラ読めたら楽しいだろうなと思っていました。高校3年の時、2級を取得しましたが正直物足りず、数少ない得意分野である漢字力を極めた証しを漢検という形で示したいと思いました。(10代・準1級)



私はアメリカの大学で日本語を勉強しながら、日本の文学に出会い、夢中になりました。それから、小説を原文で読む願望が強くなり、漢字の知識を更に深めたくなりました。来日してから漢検の勉強に励み、2級に合格しました。しかし、谷崎潤一郎や三島由紀夫などの好きな作家を読むには常用漢字だけでは足りないと感じ、準1級の受検を決意しました。その為の勉強は遣り甲斐があり、より楽しく日本文学が楽しめるようになりました。(30代・準1級)



もともと漢字が好きだった。当時、日本の有力な大臣の漢字熟語の読み間違いがテレビで話題になり、同年代の自分も同じような過ちをしていないかと反省して。(60代・1級)

子ども・教え子と一緒に受検



子どもが小学校低学年で受検を始めたので一緒に勉強を始め、2級に合格しました。その後子どもが追いついてきたので、抜かされたくないと思いつく上を目指すことにしました。しかし才能がなかったらしく落ち込み、15回目くらいでやっと合格。途中子どもに並ばれてしまいました。働きながらの勉強は時間の捻出が難しかったのですが、頑張る姿を見せられたのは良かったかなと思います。(40代・準1級)



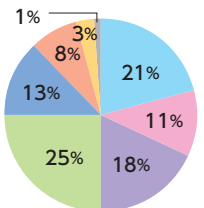
高校の国語科教員として、3年生と一緒に頑張りがかったことと、自己研鑽のため。(40代・1級)



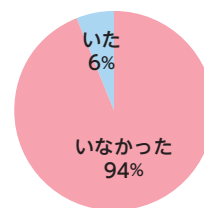
小・中学生の孫の漢検受検の背中を押すために、お婆ちゃんも頑張るから競争しようということで3級から始めました。2級まではなんとかトントン拍子でしたが、準1級からは難航し、漢字の奥深いところまで理解するにあたり、これまで知らないで過ごしてきたことをつくづく反省させられました。やるからには1級を目指し、読書も積極的に進めています。(70代・準1級)

準1級以上を初めて受検したときの年代は?

10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代



受検を決めた時、身近に漢検1級・準1級を受検している人はいましたか?



編集部よりコメント

たくさんのご回答ありがとうございました! 様々なエピソードをお寄せいただきましたが、意外にも、「受検を決めた時、身近に準1級以上の受検者はいなかった」という方がほとんどのようです。純粋な漢字への興味や強い向上心で受検を決める方が多いようですね。子どもの受検がきっかけ、とのご回答も多く、級は違っても漢検受検の仲間がいることが、モチベーションを保つ秘訣なのかもしれません。また、誌面に載せきれなかった回答の一部を、当協会運営のWebサイト「漢字カフェ」に掲載いたします。ぜひこちらもご覧ください!

漢字カフェ 難関級受検 検索

次のアンケートテーマは「おらが町の難読地名」です。回答方法は8ページをご覧ください!

研修会 報告

第26回 会員向け研修会を開催いたしました

2019年11月17日(日)に漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)にて、第26回会員向け研修会を開催し、67名の方にご参加いただきました。ご講演内容を簡単にご紹介いたします。



漢字文化の原動力を考える

日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所 所長 阿辻 哲次 氏



1. 漢字学習の目的は「就活」?

3000年以上の歴史をもつ漢字は、これまでの文化で非常に大きな役割を果たしてきました。この間に漢字を書くために、亀の甲羅や竹・木の札、絹、そして紙などいろいろなハードが登場し、そこに政治や行政、学問と思想、そして芸術などさまざまなソフトにかかわる文章が記録されてきました。このようにハードとソフトが調和する社会の中で、漢字がそれぞれの時代にどのように発展してきたのかを簡単にご紹介しましょう。

はじめに、人々がなぜ漢字を勉強したのか、その理由を考えてみましょう。だれだってなにかの理由がなければ勉強なんかしません。漢字学習の最初のきっかけは、秦の始皇帝の時代に全国に作られた役所をつなぐネットワークの中で、大量の行政文書がやりとりされたので、文書を書くためにたくさんの書記が必要になったことにありました。

この書記たちを採用するために、漢字の書き取り試験

がおこなわれました。文献によれば、秦から漢の時代では17歳以上の男子に対して、のべ9000字以上の漢字と、6種類の書体を書き分ける試験がおこなわれ、成績優秀者が官吏に採用されました。

このような試験制度が始まると、さっそく「受験産業」が成立し、漢字学習の教科書が作られ、若者は「就活」として漢字を勉強します。漢代の図書目録には合計12種類の教科書の名前が見え、その中で『急就篇』^{きゅうしゅうへん}という書物だけが今に伝わっています。これは役人に必要な漢字2144字を使って、覚えやすい文章に仕立てたものです。

しかし2000字はやはり多いので、のちに1000字だけできた『千字文』^{せんじぶん}が作られました。これは南北朝の梁の時代に周興嗣という人物が作ったもので、非常に早い時代に日本にも伝わっていました。奈良時代の日本の役人が、『千字文』の冒頭の一節をカマボコの板のような札に書いた「ノート」が、奈良の遺跡から発見されています。

2. 素材と目的によって変化する漢字の形

漢字を勉強する目的はやがて「科挙」という試験にかわりましたが、一方漢字を書く素材はどう変わってきたでしょうか。中国では紀元前100年くらいの紙が発見されていますが、漢字はそれよりはるか前から使われています。紙が登場する前には亀の甲羅や青銅器、竹・木の札が使われ、富裕層なら高価な絹に文字を書いていたが、紙が登場したあとも用途に応じてさまざまな素材が選択されました。特に南北朝の時代では、北朝では石碑に文字を書くのが主流で、^{のみ}鑿と金づちで漢字を刻んでいました。鑿で刻めば「続け字」が書けませんから、こうして楷書ができました。一方南朝で主流だった紙ではすらすらと筆を走らせることができるので、行書や草書が発達しました。

つまり書体とは筆記用具が作るもので、書く素材が異なれば漢字の形も異なるというわけです。

さらに芸術作品として書かれる時には、漢字の形がかなり大胆に異なってきます。わかりやすい例は「書聖」^{おうぎし}王羲之が書いた名品中の名品『蘭亭序』で、そこには「之」という漢字が20回以上使われていますが、すべて形がちがいます。芸術家は興の向くまま、感性のままに筆を動かすので、出てくごとに「之」の字体が異なっています。しかし書記が書く行政文書では、漢字の形が一定していないと困ったことになります。ここに芸術と情報伝達というソフト面の違いによる、漢字文化の異なった様相が展開されています。

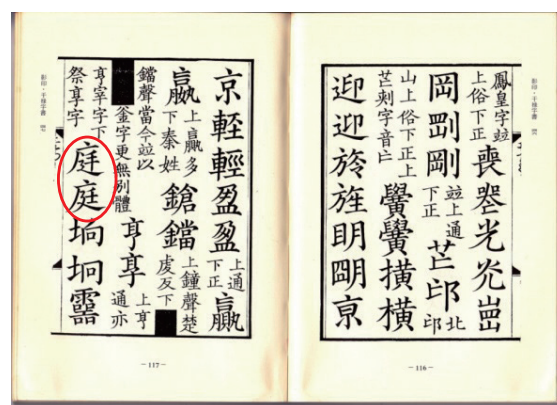
3. 「正式な字」を定めた『干禄字書』

このように素材(ハード)と目的(ソフト)の違いによって、たくさんの異体字が生まれました。例えば省略の「略」には《田》と《各》を上下に配置した「畧」という字形があり、「群」にも構成要素を上下に配置した「羣」という異体字があります。日本の歌舞伎などでは今も「千秋楽」を「千穠楽」と書いています。

このような異体字は、上級官僚採用試験である「科挙」を実施する障碍となりました。科挙は小論文の試験が中心で、受験者も採点者も同じ漢字にいくつかの書き方があると困ります。それで、異体字の正誤を定めるために、『干禄字書』という字書が作られました。

例えば右の図版には「庭」に2通りの字形があって、上の方は一般の文書には使ってもかまわない通用字体。下が正字で、科挙の試験などの正式の場合にはこちらを使えと指示されています。こうして国家によって「正しい字形」が示されました。

ハード面とソフト面が密接に連動して発達してきた中で、いつの時代でも「正しい形の漢字」は、政治的に決められてきました。しかし中国でも日本でも、長年にわたって人々が自由な感性で文字を書いてきたという歴史を、決して無視してはなりません。名もなき人々が残した文字を見つめると、豊かな文化の息遣いを感じます。そういう文化を、これからも伝承していきたいと思っています。



漢字教育サポーター 研修会報告

- 日・場所：会員向け研修会と同じ
- 参加者：19名
- 研修会内容：
サポーター講演会
「グループを通じた
サポーター活動に
ついて」

グループで動くことの利点について、今回は関東の2つのサポーターの会の方にご講演いただきました。

知新会 (青木 清徳さん)

漢字教育サポーター育成講座の第2期修了生が集まってできた知新会。漢字教育サポーターとして活動することを目的とし、毎月例会を行っています。例会では、主に模擬講座を開催したり、講演会を開催したりしています。現在25名の会員のうち、19名の会員の方が実際に講師として活動されているそうです。



横浜あさひ漢字塾

(有賀 理さん、北島 茂治さん、日置 恵子さん)

あさひ漢字塾は、青少年指導員連絡協議会の主催のもと、サポーターや地域の学校、子ども会、社会福祉連絡協議会が協力して講座を開催しています。講座を運営するにあたっての役割分担だけでなく、子ども向け講座や大人向け講座の内容についても実際に使用している教材をもとにご紹介いただきました。



2020年度 生涯学習ネットワーク研修会の 日程・場所が決まりました。

4月5日(日)

東京都千代田区

JR四ツ谷駅周辺

7月12日(日)

香川県高松市

JR高松駅周辺

11月15日(日)

大阪府大阪市

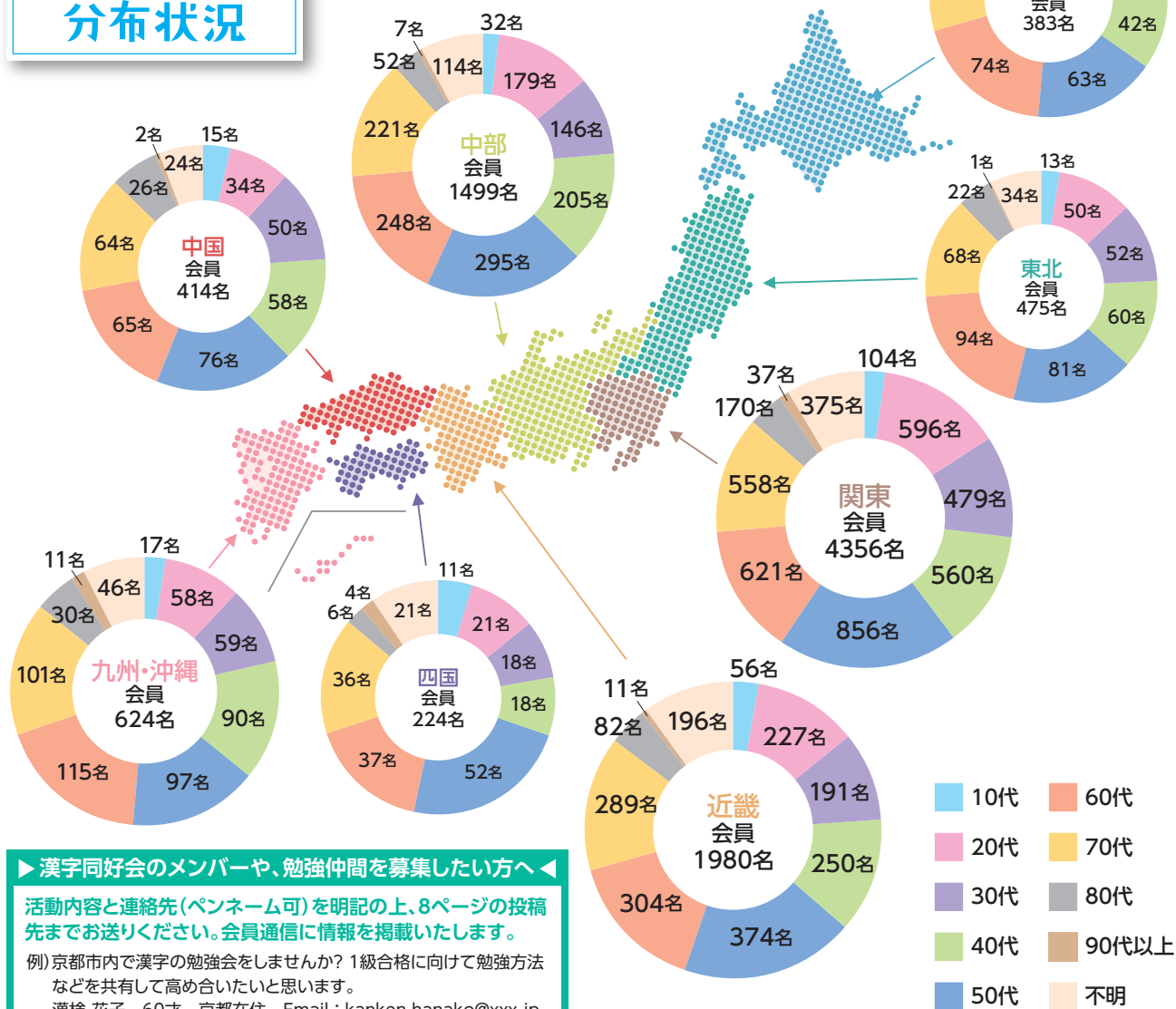
JR大阪駅周辺

各会場、遠方からのお越しもお待ちしています！4月5日(日)の詳細は同封のチラシにてご確認ください。

ネットワーク会員の 地域別 分布状況

2011年4月に生涯学習ネットワークが発足して以来、多くの方々に会員登録していただき、2019年11月現在で会員数は9,955名となりました。

今号では、会員の地域別分布状況をご紹介します。
あなたのお近くにも仲間がいるかもしれません！



漢字パズル

(出題者:ペンネーム いたりいさん)

例

	月
生	

 日+月=明
 + 生
 Ⅱ 星
 答え: 日

中央にある漢字を入れると、四方のパーツとそれぞれ合わせて漢字ができます。①～④に入る漢字は何でしょうか?

①

	丘	
イ		支
	石	

②

	立	
王		予
	...	

③

	玄	
糸		各
	月	

④

	一	
言		頁
	貝	

漢字研究の



このコラムでは、漢字文化研究所の研究員が「日本語や漢字の面白さ、奥深さ」を会員の皆さまにお伝えします。

漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。

台風の「目」

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所

小林 雄一



目はあらゆる動物がもつ、重要な器官です。『岩波古語辞典』によれば、「め(目)」と植物の「め(芽)」とは同源とされます。かたい種や樹皮を破って新しい芽が出てくることに、外界の情報を受け取る目の働きや、目の形を重ねたのかもしれませんが。植物だけではなく、網の目、定規の目盛り、双六の賽の目のように、物にも「目」がついています。また、「痛い目に遭う」のように自分の経験を「目」と言うこともあります。

2019年には、台風が甚大な被害をもたらしました。この台風にも「目」があります。「台風の目」は、台風の中心を「目」と表したもので、台風の形を眼球に見立てたものとも考えられますが、このような「目」の使い方は日本語として珍しいものです。台風「目」があると気付いたのはいったい誰なのでしょう。

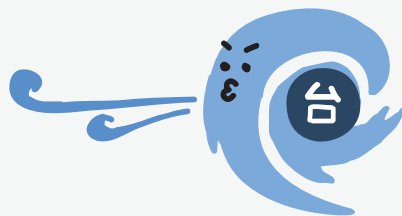
「台風」はもと「颱風」と書かれていたものが、1946年の当用漢字の制限によって同音の「台」を用いるようになりました。台風の語源や「颱」の字については、新村出の「颱風小記」¹⁾に詳しく述べられていますので、ここでは割愛します。明治時代の新聞記事(読売、朝日)では台風を「颶風」と書いています。颶風に代わって颱風を広めたのは、中央気象台の台長、岡田武松で、早くは1908年(明治41)の『気象学講話』に「颱風」を用いています。岡田は同著で「颶風」を猛烈な暴風として、渦を巻く低気圧

の「颱風」と区別しました。新聞記事では1912年(大正元)9月ごろから「颱風」の語が見られます。

さて、肝心の「台風」²⁾については、中央気象台の技師、馬場信倫の『気象学』(1900年〈明治33〉)の記述が注目されます。台風の中心部では風が弱く、晴天が見えることがあると述べたあとに、

其中心部ヲ(Eye of Storm)暴風ノ中心ト云フと述べます³⁾。台風の目という表現は翻訳由来のものようです。同著には、台風の研究者として、ポーランドの気象学者、H. W. Doveの名があり、その著作⁴⁾を確認すると「the eye of the storm (英訳版、ドイツ語原文das Auge des Sturmes)」が用いられています。

Doveは船乗りの表現としてこれを紹介し、スペイン語、ポルトガル語での呼び方も併記しています。近年の研究⁵⁾では、船乗りの呼ぶ「台風」は、スペイン語の「目(ojo)」の意味に由来するもので、雲が途切れて光が差すさまを「目」と呼んだのではないかと考察しています。なるほど、台風を上から見たのではなく、下から見た船乗りが、「目が開いた」と思ったということなのかと、感心した次第です。



1 新村出(1930)「颱風小記」(『東洋史論叢 桑原博士還暦記念』所収、『国語学叢録』、『新村出全集』(第三卷)再録)

2 『気象学講話』の増補再版(1910年)では台風の中心についての記述が増補され、「颶風眼」と呼ぶ。「颱風眼」の早い例は、『気象集誌』(第1輯、31-10、1912年)の「大正元年八月全国気象概況」に見られる。

3 若林欽(1917)『海の自然科学』にも「航海者は颶風の中心を颶風の眼(Eye of the Storm)と称する」とある。

4 Dove(1861) *Das Gesetz der Stürme in seiner Beziehung zu den allgemeinen Bewegungen der Atmosphäre*, Berlin: Dietrich Reimer (英訳版Dove(1862) *The Law of Storms: Considered in Connection with the Ordinary Movements of the Atmosphere*, London: Longman)

5 三好準之助(2010)「「台風」の目と ojo del huracan : 日西比較研究 —「目」の意義特徴との関わり—」(『京都産業大学論集 人文学系』41)

漢字教育サポーターリレーコラム

第9回

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さまによる漢字や漢字教育活動に関するコラムを掲載します。

第9回は青森県にお住まいの斎藤ミツさんにご執筆いただきました。

緒に就いた??

第1期漢字教育サポーター 斎藤 ミツ

人生最初で最後の名刺を作った。

裏面には次の項目で。

- ・NPO法人全国ラジオ体操連盟公認一級指導士
 - ・日本漢字能力検定協会登録 漢字教育サポーター
 - ・立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所認定漢字教育士
 - ・青森市スポーツ推進委員
- ※只今、腹話術を勉強中です※

としたものの、漢字教育サポーター、漢字教育士としての活動は殆どしていない自分を情けなく思う事しきりの日々。そんな中で思い出したのが、1期生募集時に書いた応募動機。既に取得していたラジオ体操指導士の活動と、日本文化の主流である漢字のおもしろさを伝える活動をコラボさせたいと書いたではないか。

折しも、短命県返上施策の一つとして、青森市では健康作りリーダー養成を推進。これまで以上に体操指導の機会が増え、参加者の満足度を高める工夫が一層必要になった。

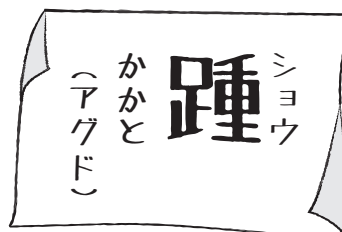
そこで、身体部位名を漢字で示すことで、これまで以上に自分の身体機能を意識し、その部位を順次鍛えることによって、より意欲的に取り組んでくれるのではと考えた。

準備した漢字は次の通りである。

- ①踵 ②踝 ③脛 ④脹脛 ⑤膝 ⑥腿 ⑦股 ⑧脚 ⑨臀 ⑩腰 ⑪腹 ⑫臍 ⑬胴 ⑭胸 ⑮脇 ⑯肩 ⑰背 ⑱腕 ⑲肘

これらを画用紙両面に一文字ずつ書いたものを10名ほどに配る。

まず①踵の用紙を持っている人が高く掲げると全員で読む。「かかとして読むのか!」と感嘆の声も



聞こえる。次に踵を掴む。私が「津軽弁では?」と聞くと「アグド」と返ってくる(爆笑—勿論現在は絶滅に近い)。起立して踵落とし30回。踵歩き30歩。「一回一回、一步一步が自分の脚力を高めることを意識して!」と声掛けする。この運動は骨密度を高め骨粗鬆症を防ぐ効果がある。

次は②踝だが、これは踵より読みづらかったようだ。「くるぶし」と読んでから踝に手を当て、その動きを感じられるように足首を大きく回す。これは足首を柔軟にして転倒を防ぐ効果がある。

このように進めながら、私の意図としては③脛からの漢字に共通する「月」の意味から「祭」の字義説明まで到達したかったが、もう1時間20分も経過し、残り10分しかない。敢えなく⑥腿で終わる。本来の目的は①から⑯までの運動効果の一つにまとめている「ラジオ体操」こそを詳しく指導するはずだった。原因は運動内容の厳選不足と私の無駄話によると反省した。

が、準備した漢字の多くを提示できなかった事で、かえって次回⑦からの漢字と運動に期待感を抱いてくれた。そして何よりも、「漢字っておもしろい! 今日楽しかった!」と帰り際に言ってもらったことを励みに、次に向けて準備をしているところである。

斎藤さんからの紹介で

次回は神奈川県清田 淑子さんのコラムを掲載します。お楽しみに!

イベント告知

紹介者：市之瀬 肇さん

テーマ

「学校で習わない」漢字と日本語の話

今までと別の角度から漢字と日本語を学習して、心豊かになりませんか。
蓄積された心の財産は決して減ることがありません。

内容

各回・各会場とも ①漢字と日本語 ②白川文字学 ③日本語再発見
※連続講座ですが、1日程から参加可能です。

講師

市之瀬 肇

漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)解説員、
立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所認定 漢字教育士、
瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員、
岐阜県瑞浪市教育功労者、東海俳句作家会会員

参加費

500円/1回

申込方法

参加希望の旨と氏名を
「連絡先」のメールアドレスまで
お知らせください。

連絡先

市之瀬 肇
[E-mail]
hajime.85435@docomo.ne.jp

会場

- 1 名古屋市千種生涯学習センター(名古屋市千種区振甫町3-34)
アクセス：市営地下鉄東山線「池下」駅下車、市バス(大森車庫行き)「振甫町」下車すぐ前
日時：2月14日(金)、3月13日(金)、4月10日(金)、5月8日(金)(以降毎月第2金曜日) 午前10時～11時30分
- 2 名古屋市北生涯学習センター(名古屋市北区黒川本通2-16-3)
アクセス：市営地下鉄名城線「黒川」駅下車、徒歩3分
日時：2月10日(月)、3月9日(月)、4月13日(月)、5月11日(月)(以降毎月第2月曜日) 午前10時～11時30分

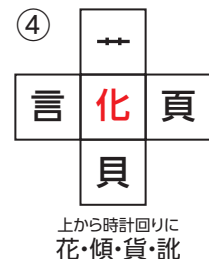
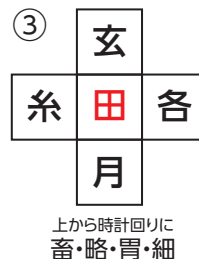
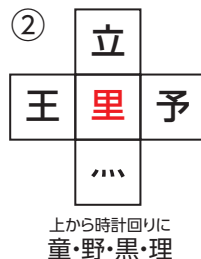
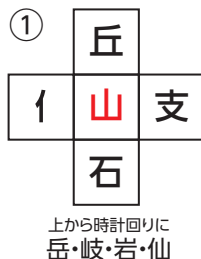
イベント告知 募集中!

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

投稿内容：①日時 ②会場 ③内容 ④参加費 ⑤申込の要・不要(要の場合は申込方法と申込締切日)
⑥公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)

※会員通信は2月・6月・10月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでの
お知らせとなる場合がございます。

漢字パズル 解答編



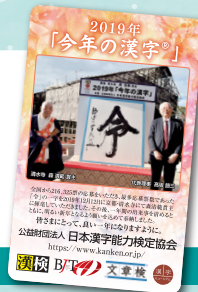
漢字クイズ・パズル募集中! 投稿方法は8ページをご覧ください。

お知らせ

会員通信への 投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆さまからの積極的なご投稿をお待ちしています。

アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から抽選で3名の方に「今年の漢字」図書カード(500円分)をお送りいたします(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます)。



会員向けアンケート回答方法

今回のアンケートテーマ「おらが町の難読地名」

皆さまのお住まいの都道府県には、正しく読むのが困難な地名はありますか? 自慢の難読地名を教えてください!

例) 神出町紫合(かんでちょうゆうだ)

右の二次元コードを読み取るかアドレスを入力し、2020年3月23日(月)までにご回答をお願いいたします。

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_150/index.do

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールもしくは電話にてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りいたします。



1級に初めて合格しました!

あなたの合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「あなたの」経験をご投稿ください。

投稿内容: ①合格時期 ②合格までの受検回数
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと
④合格した時の気持ち、感想 ⑤今後の目標

※文字数: 項目①～⑤までの合計で500字以内

※対象: これまでに1級合格経験のある方

※当協会運営のWebサイト「漢字カフェ」に、お名前を伏せて掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

書籍紹介

漢字・日本語に関する書籍で面白いと感じたもの、興味を持ったものをご紹介ください。

投稿内容: ①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年
⑤お薦めの理由(250字以内)

漢字クイズ・パズル

漢字に関するオリジナルのクイズ・パズルのご投稿をお待ちしております。

投稿内容: ①問題 ②解答(未発表作品に限る)
※例: 漢字クロスワードパズル、難読漢字パズル、漢字クイズ等

投稿方法

①～④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の宛先にお送りください。

①会員番号 ②氏名(ペンネームも可)
③電話番号 ④各コーナーへの投稿内容や
ご意見・ご感想

投稿先

日本漢字能力検定協会
生涯学習ネットワーク担当

メール: lifelong@ic.kanken.or.jp

FAX: 075-532-1110

郵送: 〒605-0074

京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日: 2020年3月23日(月)

※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。
※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。

※ご投稿いただいた内容は、当協会運営のWebサイトに掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。

※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただくことがあります。ご了承ください。

会員通信Vol.33
ご感想をお寄せ
ください!

下記のアンケートにご回答いただいた方全員に、 漢検オリジナルグッズをプレゼント!

回答期限:

2020年3月23日(月)

皆さまによりよい会員通信をお届けするため、会員通信vol.33についてのアンケートにご協力をお願いいたします。右の二次元コードを読み取るか、下記のアドレスを入力して、ご回答ください。

回答は
こちらから!

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_151/index.do

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールもしくは電話にてお知らせください。
郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りいたします。



公益
財団法人

日本漢字能力検定協会

本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。

<https://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)
※検定日とその前日の土・日は窓口を開設
※検定日・申込締切日は9:00～18:00

